

戦略的施策に係る指標目標値の考え方について(報告)

1. 戦略的施策に係る指標の目標値の設定状況

戦略的施策2「地域共生社会の実現に向けた環境づくり」における指標①「地域で住民同士が支え合うことができていると感じている市民の割合」及び指標③「地域と関わるることができる機会があると感じている市民の割合」並びに戦略的施策4「都市ブランドの構築」における指標②「生駒をより良くするためにまちに関わりたいという気持ち」の計3指標については、第2期基本計画策定時の値が未測定であり、令和9年度末に目指す目標値については令和6年度の市民実感度調査結果を受けて設定することとなっている。

2. 目標値の考え方

(1) 戦略的施策2における指標①及び③について

既に設定済みの指標②と同様に、当該指標に係る令和6年度市民実感度調査の年代別割合のうち、策定時の値よりも数値の低い年代が策定時の値まで上昇した場合の全世代割合を目標値とする。

< 計算資料 >

指標①地域で住民同士が支え合うことができていると感じている市民の割合

策定時(R6年度) 14.6 %
目標値 16.4 %

R6調査における年代別の結果

	割合	「とてもそう思う」または「そう思う」と回答した人数	回答者数
10・20代	22.9	25	109
30代	15.3	19	124
40代	10	21	210
50代	13.6	42	308
60代	9.5	24	252
70代以上	17.8	100	562
不明	5.9	1	17
	14.6	232	1,582

R6年度数値よりも低い年代がR6値になった場合

	割合	「とてもそう思う」または「そう思う」と回答した人数	回答者数
10・20代	22.9	25	109
30代	15.3	19	124
40代	14.6	31	210
50代	14.6	45	308
60代	14.6	37	252
70代以上	17.8	100	562
不明	14.6	2	17
	16.4	259	1,582

指標③地域と関わることができる機会があると感じている市民の割合

策定時(R6年度) 21.5 %
目標値 22.9 %

R6調査における年代別の結果

	割合	「とてもそう思う」または「そう思う」と回答した人数	回答者数
10・20代	27.5	30	109
30代	22.6	28	124
40代	20.5	43	210
50代	17.9	55	308
60代	19.4	49	252
70代以上	24.2	136	562
不明	0.0	0	17
	21.5	341	1,582

R6年度数値よりも低い年代がR6値になった場合

	割合	「とてもそう思う」または「そう思う」と回答した人数	回答者数
10・20代	27.5	30	109
30代	22.6	28	124
40代	21.5	45	210
50代	21.5	66	308
60代	21.5	54	252
70代以上	24.2	136	562
不明	21.5	4	17
	22.9	363	1,582

(2)戦略的施策4における指標②について

策定時(R6年度) -42.3ポイント

目標値 -39.3ポイント

※計算手法:10点から0点までで意欲の強さを尋ね、10~8を推奨者、5~0を批判者として、推奨者の割合から批判者の割合を差し引く

令和6年度の - 42.3 から毎年度 1 ポイント上昇させ、令和9年度には - 39.3 にすることを目標とする。

現状高い割合を持つ 8~10 点(推奨者)については現状維持を目指し、特に 0~5 点(批判者)及び 6~7 点(中立者)の回答者を主なターゲットとして多様な主体がつくる魅力だけでなく、地域活動等の情報や接点等も発信することで、「生駒をより良くするためにまちに関わりたいという気持ち」の数値の向上を目指す。

<参考資料>

■市民実感度調査結果(R6)

選択項目	回答数	割合
10点	46	2.9%
9点	33	2.1%
8点	160	10.1%

7点	226	14.3%
6点	195	12.3%
5点	505	31.9%
4点	92	5.8%
3点	136	8.6%
2点	74	4.7%
1点	51	3.2%
0点	51	3.2%
無回答	13	0.8%
全体	1,582	100.0%